

「高齢者・国民いじめの政府から、立憲野党共闘の政 権の実現を」の訴え！

政治は選挙で変えられる！変えるのは私たち！

残された期間、全力を挙げましょう！

全日本年金者組合
中央執行委員長 杉澤隆宣

年金者組合中央本部は、10月4日から3日間、第3回中央委員会、全国委員長会議を開催し当面の活動方針を決定し活動を開始しています。

当面、①最低保障年金制度実現のとりくみ、②年金裁判の意義を訴え、協力・共同の運動をすすめる、③組織を後退から前進へ転換する、④選挙戦勝利に全力をあげる、としています。

岸田政権が10月4日発足したのも束の間、10月19日公示、31日投開票で総選挙がたたかわれます。「話をよく聞く」と言っていた岸田首相ですが、野党や国民の声を聞かず「聞く」のは財界や支持者の声ばかりです。選挙を急いだのは、「政権のボロ」が出る前にとの判断からです。

総選挙は要求実現の絶好のチャンスです。

年金者組合の要求実現の最大の保障となるのが自公政権にかわる野党連合政権の樹立です。すでに、年金者組合は総選挙の闘争方針を確立し、立憲野党に対し、小選挙区での統一候補擁立など3点の要請を行い、総選挙政策の中に、「社会保障の充実、最低保障年金制度の創設、マクロ経済スライドの廃止、すべての高齢者に国庫負担による3.3万円の支給」を加えることを要請中です。

総選挙で立憲野党の統一候補者を当選させ、野党連合政権を樹立できれば、市民と野党の共通政策である、国民のいのちとくらしを守り、社会保障を充実させ、憲法を守りいかす政治が実現できます。

総選挙の投票日まであと18日です。全ての都道府県本部・支部が「コロナに負けず、感染対策」を充分に行い、「総選挙勝利」と「仲間づくり」を両立させ野党連合政権樹立に向けて総力をあげて奮闘することを訴えます。

2021年10月14日